

# 由宇中の学習だより

～やる気・内容・継続～

由宇中 研修部  
R.1 9.27 ㊟

## 全国学力・学習状況調査、山口県確認問題の結果についてお知らせします

4月に全国学力・学習状況調査（3年生）、山口県確認問題の学力検査（1,2年生）が実施され、3年生は国語・数学・英語のテスト、1,2年生は国語・数学のテストを受けました。テストの出題範囲は、前年度までの内容になりますから、3年生であれば2年生までの学習内容の定着度等が計られたこととなります。先日、本校と全国や山口県、岩国市との比較結果が返ってきました。

本校の生徒の学力は、全国・山口県・岩国市と比較して概ね「低い」状況にあることが分かりました。各学年ごとの状況をお知らせします。

- [1年生] 山口県・岩国市と比べて、国語・数学ともに“**同程度**”である
- [2年生] 山口県・岩国市と比べて、国語は“**少し上回っている**”。数学は“**少し低い**”
- [3年生] 全国・山口県・岩国市と比べて、国語・数学・英語ともに“**かなり低い**”

各教科で問題別の結果を分析すると、次のような傾向が分かりました。

- 1 漢字の読み、空所を補充する問題、選択肢のある問題など手がかりが示されている短い情報を読み取ったり、単語や語句で書いて答えることはできる。
- 2 「資料」、「グラフ」、「スピーチ」、「討論」を読み取る力が不足している。
- 3 条件に合わせて、読み取ったことを説明する（書く）・解にすることが苦手である。  
※2,3の問題では、解答欄が空欄のままの、無回答率が高い。原因としては、「問題の意味を読み取ることができない」、「説明するための語句を知らない」、「あきらめている」などが考えられる。

この分析結果をもとに、本校では全教科で「生徒に付けたい力」を明確にして、授業改善に取り組んでいます。下記は、3教科の「生徒に付けたい力」です。

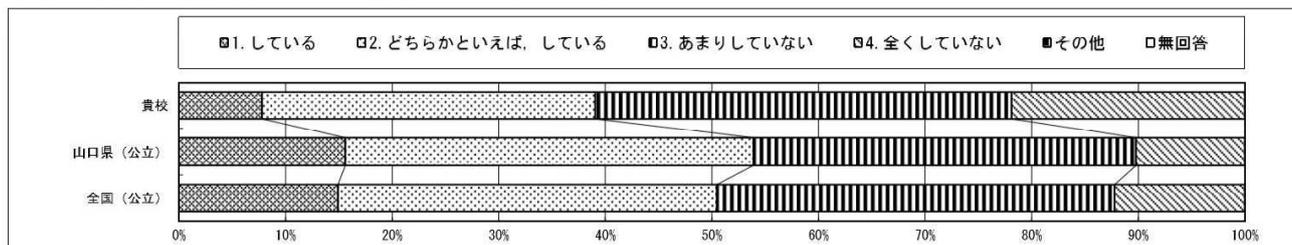
- 国語科「根拠にもとづいて、他人に分かりやすく説明する力」
- 数学科「図や式をイメージし、書き出したり、人に伝えたりする力」
- 英語科「テーマに合う複数の英文で自分の思いを話したり、書いたりする意欲・表現力」

そこで、授業の場面では、「かかわり合い」の場面を増やし、友達や教材、教師とのかかわり合いの中で、考えたことや疑問に思うことを“伝える力”の育成を目指しています。

ただし、この授業改善だけでは学力向上につなげることはできません。先述した分析結果にもありますが、「伝える力」を育成するためには、問題を読み取る力や基本的な語句などの知識が必要になります。それらを土台にして、より発展的な学習につなげることができるのです。（裏面へ）

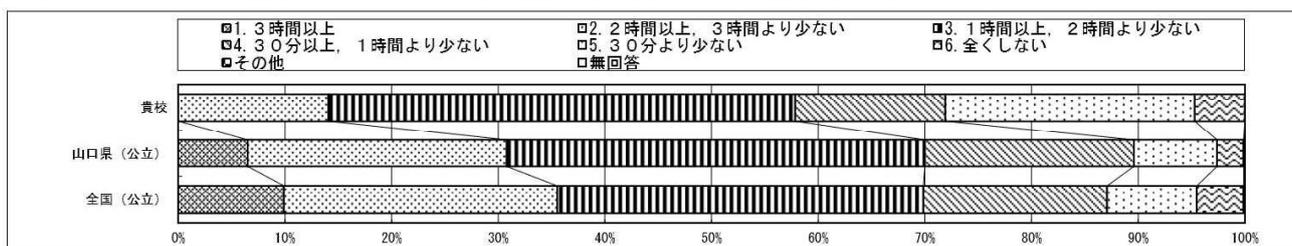
そのためには、学習（授業）内容を定着させる家庭学習の充実が必要不可欠です。全国学力・学習状況調査には、「質問紙」という生徒へのアンケートもあり、その集計結果も送られてきました。国や山口県と比較して顕著な差があったのは、やはり家庭学習の状況でした。

### ○家で自分で計画を立てて勉強していますか。



「している」、「どちらかといえば、している」が山口県と比較して約15ポイント低いです。

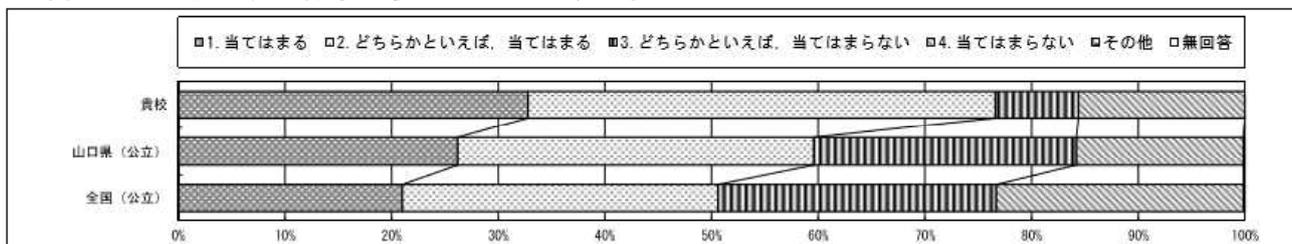
### ○家でどのくらい勉強していますか。（塾や家庭教師との勉強も含む）



まず、「3時間以上している」と答えた生徒がいません。反対に、「30分より少ない」、「全くしない」と答えた生徒は、山口県・全国と比較して約15ポイント高いです。

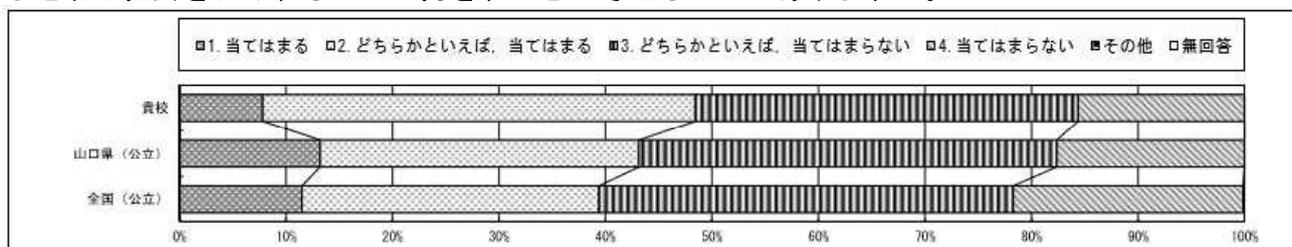
しかし、山口県・全国と比較して、上回っている項目もありました。

### ○今住んでいる地域の行事に参加していますか。



「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせたプラス評価が山口県とは約15ポイント、全国とは約25ポイント上回っています。

### ○地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。



「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせたプラス評価が山口県・全国に比べて上回っています。

ボランティア活動が盛んな由宇中学校ならではの良さが出ています。子どもたちは地域の行事に参加し、異年齢の人たちとの交流を通して、由宇地域の現状や未来について考えていることが分かります。これからも、この良い伝統を1，2年生が引き継いでいってほしいと思います。

課題は、計画的な家庭学習とその学習量です。1年生は少しずつ学習量を増やしていきましょう。2年生は、英語と数学を毎日欠かさず学習しながら、他の学習へと広げていきましょう。3年生は朝・夕の補習に参加して、ポイントを絞って既習事項の学び直しに励んでいくことが大切です。

